



香取で暮らす、香取を楽しむ情報紙

広報

かとり

Katori

平成27年(2015) 7月15日号 No.224

未来を拓く^{ひら}ブドウ



香取 孝禎^{たか よし}さん(伊地山)

就農して4年、両親のブドウ園の一角を任せ、試行錯誤しながら味の良いブドウ作りに取り組んでいる。

以前は子どもたちにカーニ指導やプラネタリウムの案内をしていた香取さん。`シャインマスカット、との出会いが就農の決め手となった。

カトリノ郷物語

まだ見ぬ美味しさを語り明かす

vol. 3

15日号は農政課で募集した「香取の逸品」にスポットをあてます

これからの展望として、シャインの規模拡大を挙げた香取さん。ホームページ上で、逸品のブドウを紹介するほかに、活動状況も発信している。こうしたネットを利用する販売など、今後、若い作り手がどんな新しい発想で、こだわりのブドウ作りに取り組んでいくのかが離せない。シャインの最盛期は盆の頃というから、贈答用にも喜ばれそうだ。

「父からブドウ園の一角を任せられて、シャインのほかに瀬戸ジャイアンツ(以下瀬戸G)と巨峰を作り始めました。ノウハウは教えてもらえませんが、それでも1年目は外してしまっ、難しさを実感しましたね。特に瀬戸Gは、枝が伸びては枯れて、なかなか実が生らなかつた」
その瀬戸Gは、消費者の声を反映して作り始めたと聞く。「そうです。お客さんから『おいしいから作ってよ』と要望があつて、始めたのがきっかけ。そういうこともあるんです(笑)。それで、できあがつたブドウを食べて、本場の岡山産にも負けなかつたと言ってもらえたのは良かった」
容易ではないにもかかわらず、屈託ない笑顔で答えてくれた。消費者の声を大事にする生産者は多いが、こうして目に見える形でニーズに応えてくれるのはうれしい。任せられた一角で、どの品種にも目をかけつつ、商品価値を信じたシャインには一際的情熱を注いでいる。

「実際にシャインの作業をしている時が一番面白い。粒の大きさ、房の形なんかを眺めて、どういふ風に成長するかなって予想しながら、楽しんで仕事をしています」
充実した様子だが、もちろん最初から上手^{うま}くいった訳ではない。「父からブドウ園の一角を任せられて、シャインのほかに瀬戸ジャイアンツ(以下瀬戸G)と巨峰を作り始めました。ノウハウは教えてもらえませんが、それでも1年目は外してしまっ、難しさを実感しましたね。特に瀬戸Gは、枝が伸びては枯れて、なかなか実が生らなかつた」

「これならいけるー!」って思いましたね。シャインは、皮ごと食べられる種無しブドウなので、一口かじってみたら、パリッと皮が破れてマスカットのいい香りが鼻に抜けるんです。黄緑色の見た目からは想像できない甘さも特徴でギャップに驚きました。ブドウでいける見通しがついたのは、コイツがいたから。これからはシャインですよ」
印象的なのは、シャインのことを話す生き生きとした表情。
「実際、シャインの作業をしている時が一番面白い。粒の大きさ、房の形なんかを眺めて、どういふ風に成長するかなって予想しながら、楽しんで仕事をしています」
充実した様子だが、もちろん最初から上手^{うま}くいった訳ではない。「父からブドウ園の一角を任せられて、シャインのほかに瀬戸ジャイアンツ(以下瀬戸G)と巨峰を作り始めました。ノウハウは教えてもらえませんが、それでも1年目は外してしまっ、難しさを実感しましたね。特に瀬戸Gは、枝が伸びては枯れて、なかなか実が生らなかつた」

香取市内、数あるブドウ農家の中で注目したのは、就農して4年になる香取さん。若手の参入は業界の望むところ。どんな経緯で、ブドウを手掛けるようになったのだろうか。
「家がブドウ農家だから」ずっと、いつかはやるんだろうなと思つてました。でも、ブドウで生計を立てていくのは大変だろうとも感じていて、別の仕事をしながら、ブドウ専門に踏み切るまでいぶん迷いました」
ちょうどその頃、まるごと食べられるブドウが流行り出してた。中でもシャインマスカット(以下シャイン)との出会いは、就農に迷つていた香取さんにとって光明となる。



シャインマスカット

道の駅水の郷さわら、直売所で購入できます。ブドウ狩りができる時期や種類は要確認。

香取ぶどう店 ☎ 0478(59)1888

http://katorigs.com

02 水郷おみがわ花火大会

02 新副市長就任

02 小野川下流部・十間川沿いの液状化側方流動対策の説明会

03 子ども医療費助成

香取の逸品 KATORI